



他者と共によりよく生きるための基盤

校長 佐藤 邦彦

特別の教科 道徳

現在、道徳は教科になっています。道徳が教科化になった背景は、(1)深刻ないじめによる痛ましい問題の多発 (2)情報通信技術の発展が子どもの生活に影響を与えていること (3)子どもを取り巻く地域や家庭の変化 (4)子どもたちの低い自己肯定感や社会参画への意識等自分を高め、社会の一員として生活していくためには、道徳教育がより一層重要になってきます。今後、10～20年後には現在の社会とは全く違う社会がやってくると思われまふ。誰も経験したことのない状況下での生活となり、現在ある社会の常識が通用しなくなることも考えられます。

こうした変化に対応できる力としては、(1)自律的に活動する力 (2)異質な集団で交流する力 (3)相互作用的に行動する力だと言われています。

このような社会を生き抜くためには、子どもたちが道徳的価値を自覚するために、自らが感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向をめざす資質・能力を備えることが重要になってきます。その際、こうした資質・能力の育成に向け、道徳教育は大きな役割を果たすと考えられます。

『特別の教科 道徳』授業は、「生活経験の話し合いや登場人物の心情の読み取りだけの道徳の授業」ではなく、「考え・議論する道徳」が求められています。授業を通して、子どもたちが困難な問題に対処することができる力を育成します。取り上げる教材の中で、事象を深く見詰め、自分はどうすべきか、自分に何ができるかを考える授業をすすめています。

本校では、重点目標を定め、道徳の時間の指導の充実に努めています。今年は内容項目を「生命の尊さ」(生命関すること)と「親切・思いやり」「信頼、友情」(人との関わりに関すること)に絞って3学期の道徳授業地区公開講座で公開させていただきます。

子どもたちの世界に

目に止まった資料がありましたので以下に紹介いたします。

子どもたちの世界に「三間(さんま)」が乏しくなったと言われるようになって久しい「三間」とは「時間」と「空間」、そして「仲間」のことである。しかし、その三つが不足するうちに、四つめの間も抜け落ち始めている。子どもが「手間」をかけるのが苦手になってきたと感じられるのである。

例えば、本を自由に選べる場面では、文字が多いお話の本より絵や写真の多い本を好む傾向が強くなってはいないだろうか。また、絵などの作品を手取り早く仕上げたがる傾向が見られないだろうか。ボタンやスイッチ一つで新しい画面や局面に気まままに移動することができるのであれば、わざわざ足腰を使って「手間ひま」をかけるのは面倒なことだと思うのは自然なことである。そのような「手作り」の楽しさや喜びを忘れさせるグッズに子どもの心が支配されすぎている。「手間」を大切にすることは、じっくりと心と体を熟成させる「スローフード」でもある。心の教育も体験活動も「手間」という「ゆとり」の中でこそ充実する。「手間」をかければ、個性が育ち、共感力が高まり、人間関係が育つ。それが将来、仕事を大切にしようとする意識へとつながる。忘れてならないこと、それは、三つの「間」は大人が用意することができるが、実際に「手間」をかけて取り組むのは子ども自身がもつ心と体の力によるしかないということだ。

「初等教育資料(文部科学省)の「話題」より

東京学芸大学教授 永田繁雄

ご家庭でも四つ目の間となる「手間」を大切に、豊かな心が一層育つようにご指導いただけたらと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

お知らせ

6年生 立川市民科「麦プロジェクト」 ～起業家教育プログラム～



地域にある洋菓子店「プルミエール」さんの多大なご協力のもと、6種類のクッキーを6年生が販売いたします。11月2日(木) 本校体育館 13:45～14:30

11月の行事		
1	水	安全指導 放課後学習教室（5年）14:20～ まつなか塾⑨（2年）のびようタイム（1年）
2	木	歩行学習（まつのみ） 立川市民科（6年）起業家販売会（体育館）5校時
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	学校朝会 キラリ参観週間 会場準備（6年）6校時
7	火	5年麦種まき 3・4校時
8	水	5年麦種まき（予備日）
9	木	就学時健康診断13:30～
10	金	たてわり班遊び（昼休み） 委員会活動6校時 クロムブック回収日
11	土	
12	日	
13	月	学校朝会
14	火	
15	水	児童集会 放課後学習教室（5年）14:20～ まつなか塾⑩（4年）子ども広場①（1年、園児） のびようタイム（1年）
16	木	いじめみのがさあずディ
17	金	子ども広場②（1年、園児）
18	土	
19	日	
20	月	学校朝会 食育（3年）
21	火	音楽会（リハーサル）
22	水	音楽会（児童鑑賞日）会場準備（6年）5校時 放課後学習教室（5年）13:20～
23	木	音楽会（保護者鑑賞日） 勤労感謝の日
24	金	振替休業日(11/23分)
25	土	
26	日	
27	月	学校朝会（3年）会場片付け1校時（5年）
28	火	たてわり班長会議 中休み 整形外科検診13:30～※希望者のみ
29	水	児童集会 放課後学習教室（5年）13:20～
30	木	避難訓練(不審者対応訓練3校時)
12月初めの予定		
1	金	ひこうき雲出前授業（4年）クラブ活動6校時
2	土	
3	日	
4	月	学校朝会（4年）
5	火	ユニセフ募金（朝）
6	水	ユニセフ募金（朝）
7	木	6年社会科見学（国会）
8	金	委員会活動

音楽会について

11月23日（木）に保護者・地域参観の音楽会を開催します。一生懸命に練習した子どもたちの成果をご覧ください。

詳しくは後日配布されるお手紙でご確認ください。い地域の方は学校ホームページでご確認ください



Photo ID - 3992740

1年生と園児の交流

11/15（水）・17（金）



に交流を行います。1年生にとっては、年下の幼児と関わる中で、分から

ないことを教えたり、分かりやすく説明したりすることを通して、自分の成長に気付いたり、思いやりの心を育てます。

タブレットPCのバッテリー交換

11月13日（月）からタブレットPCのバッテリー交換を行います。11月10日（金）に児童のタブレットを交換のため回収します。3年生以上は充電をし、忘れずに学校にもってきてください。

近隣の方より

日頃より安全のため、お子様をお送りいただき感謝しております。しかし先月、近隣の方より立ち話についての連絡がありました。立ち話は交通の困難や事故の原因などにもなります。学校付近でのスムーズな移動にご協力いただけるようお願い申し上げます。

歩道橋塗装・補修工事のお知らせ。

場所 松中団地歩道橋（諏訪松中通り）
期間 11月下旬から3月8日まで

学力調査の結果より

1 はじめに

『令和5年度全国学力・学習状況調査』が、6年生を対象に4月18日に実施されました。目的は、「①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。②学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。③教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」こととされています。

また、東京都が行う『令和5年度児童・生徒の学力を図るための調査』は、5月・6月に4年生から6年生がタブレットPCで各自入力する意識調査を行いました。内容は『児童の学習意欲や学校・家庭での学習の進め方など「学びに向かう力」』等に関する内容』となっております。

2 学力に関する調査結果と分析

6年の学力調査について (2023.4.18実施)

① 各教科の調査結果

国語	松中小	東京都	全国
平均正答数	8.3/14	9.7/14	9.4/14
平均正答率	59	69	67.2

算数	松中小	東京都	全国
平均正答数	9.5/16	10.7/14	10.0/14
平均正答率	60	67	62.5

② 観点別の調査結果

A：観点別

		全体			知識・技能			思考・判断・表現		
		松中小	東京都	全国	松中小	東京都	全国	松中小	東京都	全国
A	国語	59	69	67.2	66.3	71.6	68.9	52.2	67.0	55.5
	算数	60	67	62.5	65.0	71.5	67.2	52.6	61.2	56.5

B：学習指導要領の領域

【国語】

	観点	領域	松中小	東京都	全国
B	知識・技能	言葉の特徴や使い方	67.2	73.6	71.2
		情報の扱い方	64.0	66.5	63.4
	思考・判断・表現	A 話すこと・聞くこと	48.4	73.5	72.6
		B 書くこと	14.7	28.9	26.7
		C 読むこと	68.4	73.2	71.2

【算数】

	領域	松中小	東京都	全国
B	A 数と計算	65.1	71.0	67.3
	B 図形	45.7	54.8	48.2

C 変化と関係	70.7	75.8	67.2
D データの活用	56.0	67.3	65.5

③ 学力調査の全体的な結果分析

正答率を見ると東京都、全国を下回る結果となっている。特に、国語では「聞くこと・話すこと」「書くこと」が、算数では特に「データの活用」「図形」に課題が見られた。

基礎基本の学習内容の定着や思考・判断する力の育成等、本校児童の課題改善に向けて、継続して指導を行ってまいります。ご家庭でも学習したことの定着を図るために、学んだことをその日のうちに振り返る時間をもたせてほしいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3 課題を解決するために

(1) 各教科において、基礎・基本の確実な定着を図る。

○国語の「知識・技能」の領域に差が見られる。漢字の読み書きの問題では正答率が6割であった。

繰り返し読ませたり書かせたりする中で、確実な定着へと結び付けていきます。

○算数での「データの活用」「図形」領域で課題が見られた。計算は7割以上の児童ができていますが、問われていることを正しく理解し、答えることに課題があります。

- ・それぞれの教科で、家庭学習や授業の始めの時間、朝の時間等を利用し、既習事項の確認や繰り返し学習などを行い、学習が積み重ねられるよう意図的に指導していきます。
- ・日常的な活動や補充活動として教室の掲示物等の環境を整える。話型や用語の掲示の活用を積極的に行っていく。また、タブレットPC等ICT機器を活用し、視覚的効果を図り、理解を深める教材提示をしていきます。

(2) 問題文・資料から必要な情報を取り出し、活用する力を付ける。

○国語の課題

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うこと。
- ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること
- ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

■文章に慣れる、文字に慣れること

- ・読書の充実、語彙を増やすこと・・・朝読書、読み聞かせ、用語集等の活用
- ・音読の推奨・・・声に出して読むには、漢字の読みや単語の意味、文の流れや文章の切れ目を考えながら読むこと。
- ・校内研究の充実 「自分の思いや考えを表現できる児童の育成」
～基礎的・基本的な力の定着を目指して～

○算数の課題

- ・目的に応じてデータの特徴や傾向を読み取ったり捉えたりすること。
- ・図形の構成の仕方を観察して図形について判断すること。

■基礎基本の定着（復習と授業のサイクル形成）

- ・確かな学習習慣を身に付ける。（ノートの取り方、授業に取り組む姿勢）
- ・東京ベーシックドリル（算数）前学年の苦手な学習内容の克服（週1回朝の学習時間の活用）
- ・授業の本時の学習について、ねらいに立ち返って振り返らせ、学んだ内容をしっかり理解させる
- ・数量の関係を一般化として捉え、言葉や式を用いて表現していく。